

佐賀県知事 様

住 所 佐賀市今宿町5番5号  
団 体 名 NPO法人クラブサポート  
代表者職・氏名 理事長 吉野 徳親

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和2年4月30日付け県協第234号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和2年度（2020年度）寄附金活用実績報告書

事業名	がんになっても安心して暮らせる地域社会の実現
寄付受入額	金 18,000,000 円
事業内容（いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施するのかについて記載）	
<p><b>&lt; 1 がんサロン &gt;</b></p> <p>県内8か所にごんサロンを開設し、看護師経験のある相談員2名と「ピアサポーター」（一定の研修を修了した専門職）2名を配置し、がん患者の見守りや癒しにつながる会話の誘導などを行い、療養上の不安や生活の悩みなどについて相談に応じた。開催日時及び会場は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○佐賀市がんサロン「みずがいえ」（毎月第2日曜日 15:00～17:00）佐賀市水ヶ江、溝上薬局</li> <li>○お寺がんサロン「浄照寺」（毎月第1日曜日 13:30～15:30）佐賀市高木町、浄照寺</li> <li>○小城がんサロン「まちなか」（毎月第3木曜日 13:30～15:30）小城市 ゆめプラット小城</li> <li>○上峰がんサロン「とっころーと」（毎月第4日曜日 13:30～15:30）上峰町前牟田、馬場邸</li> <li>○有田がんサロン「クローバーの会」（毎月第2土曜日 13:30～15:30）伊万里有田共立病院</li> <li>○伊万里がんサロン「ひだまり」（毎月第1金曜日 13:30～15:30）山元記念病院</li> <li>○美粧がんサロン「TWO LEAF」（毎月第3土曜日 13:30～15:30）佐賀市与賀町、FUTABA 本店</li> <li>○地域交流がんサロン「精（しらげ）」（毎月第2土曜日 13:30～15:30）佐賀市 サロン精</li> </ul> <p>本年度は、コロナの影響の下、一部がんサロンとがん患者の自宅を結ぶオンライン Web 相談を実施した。がんサロンに来たくても来れない交通難民のがん患者らに対し、本年度から試験的に車による送迎を行った。このため送迎用の公用車1台（中古）を購入した。</p> <p><b>&lt; 2 がん教育支援員の派遣 &gt;</b></p> <p>医師およびがん体験者を中心としたがん教育支援員を2学期以降に県内小中高校など15校に派遣した。募集は県保健体育課が行い、同課の求めに応じて派遣した。派遣に伴う医師やがん体験者の謝金は同課が予算化して個別に支払った。当法人は事務局費を負担した。</p> <p>本年度、がん教育授業を実施した学校は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【小学校】赤松、循誘（佐賀市）、大坪（伊万里市）明倫（鹿島市）有明南（有明町）</li> <li>【中学校】城北（佐賀市）、神埼（神埼市）西部（鹿島市）有明（有明町）</li> <li>【高校】高志館（佐賀市）伊万里、伊万里実業（伊万里市）神埼清明（神埼市）</li> <li>【その他】ろう学校、盲学校（佐賀市）</li> </ul> <p><b>&lt; 3、「い肝ばい肝！」の出版 &gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発行 2020年9月10日</li> <li>○発行者 NPO 法人クレブスサポート</li> <li>○著者 田中留奈氏（医療ライター、東京）</li> <li>○体裁 B5判 303ページ</li> <li>○出版社 佐賀新聞社</li> <li>○発行部数 1,500部</li> <li>○定価 1,650円（税込み）</li> <li>○内容 プロローグ 肝がん死亡率ワーストワンの佐賀県で何が起きたのか？ 第1章 なぜ佐賀県に肝炎・肝がんが多いのか？ 第2章 どうしたら佐賀県の肝炎・肝がんを減らせるのか？</li> </ul>	

第3章 官学民で取り組む佐賀県の肝がん対策

第4章 肝炎の検査を受けてもらうには？

第5章 肝炎の治療を受けてもらうには？

第6章 佐賀肝炎対策の神髄は多職種連携にあり

エピローグ 肝炎、肝がん患者がゼロになる日まで

○販売 発行 1500 部のうち、300 部を関係者に寄贈、残りを佐賀県内書店、アマゾン（通販）など販売、472 部を売り上げた。

#### < 4 がん対策基金の拡充 >

がん対策基金は前年度に設立し下記の 2 団体に計 200 万円を贈呈した。

- ・佐賀大学医学部遺伝性腫瘍研究チーム（代表 副島英伸教授）100 万円
- ・NPO 法人小児がんまごころ機構（本部東京、理事長中川原章）100 万円

本年度は 400 万円積み増しし 1,000 万円に増額を実現。コロナ禍の長期化に伴い佐賀県がん患者大会の開催を中止し、この席上、行う予定だったがん対策基金の贈呈も見送った。1,000 万円は次年度に繰り越した。

### 事業の成果・効果（見込み）

#### < 1 がんサロン >

がん体験者の間で最もニーズが高い「体験談や同病者との交流」の場であるがんサロンを気軽に訪ね、自身の不安や悩みを吐露することによって孤立化を防ぎ、笑顔を取り戻してもらった。並行してオンライン Web 相談やがん患者さんのサロンへの送迎にも取り組み、新しいサロンの在り方を実現した。

#### < 2 がん教育支援員の派遣 >

幼少期からのがん教育により、子どもたちに「がんについての正しい知識」や「命の大切さ」を教えるだけでなく、児童生徒および保護者に感想文を書いてもらうことによって親の禁煙や節酒の意識を向上させ、がん教育の効果が家庭や地域社会へと広がった。

#### < 3 「い肝ばい肝！」の出版 >

長年、肝がん全国ワースト 1 の汚名に甘んじてきた佐賀県が、20 年ぶりに脱却し 2019 年 10 月、山口知事が記者会見して快哉を叫んだ。肝がん制圧に取り組んできた産学官の関係者にとって宿願の達成であった。これを後戻りさせてはいけないという強い決意から肝がん制圧の記録を出版した。20 年間の軌跡を検証するとともに次世代への夢と希望をつなぐ内容となった。

#### < 4 がん対策基金の拡充 >

がん対策基金からの寄付贈呈は、資金不足に悩む主に佐賀大学などのがん研究を後押しすることができる。たとえ少額であっても県内市民団体からの贈呈は新鮮であり、研究意欲の増大につながる。機会あるごとに基金を積み増しすれば、佐賀大学のがんゲノム研究や人材育成および新薬の開発などに貢献する。

## 収 支 決 算 書

事業名		がんになっても安心して暮らせる地域社会の実現	
区 分		決算額(円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	18,000,000	第1回交付：18,000,000円
	収入計	18,000,000	
支 出	謝金	4,681,811	○がんサロン(2,212,000円) 相談員 (@5,000円×2名×12ヵ月×8ヵ所=960,000円) ピアサポーター (@3,000円×2名×12月×8ヵ所=576,000円) 事務局スタッフ (@3,000円×2名×12月×8ヵ所=576,000円) オンライン化等指導料 (株式会社アイクリック 100,000円)  ○がん教育支援員派遣 (90,000円) 事務局スタッフ (@3,000円×2名×15校=90,000円) ○「い肝ばい！」出版関連 (2,379,811円) 取材執筆 田中留奈 (医療ライター、東京) 2,079,811円 監修 江口有一郎特任教授 (佐賀大学) 300,000円
	旅費	342,500	○交通費 (電車、バス、ガソリン)
	印刷製本費	1,210,000	○「い肝ばい肝！」出版費用 (1,210,000円) 佐賀印刷社印刷製本代 880,000円 佐賀新聞社名義料 330,000円
	消耗品費	226,153	○がんサロン茶菓子代 142,000円 ○インク紙代等 67,353円 ○郵送切手 16,800円
	使用料・賃借料	444,000	○第2事務所 家賃 360,000円 駐車場代 84,000円
機器・設備費	1,232,000	○在宅がん患者向け送迎車およびオンライン相談用機器購入費 法人公用車購入 (中古1台) 1,155,000円	

		端末子機（患者向けレンタル用1台 77,000円）
がん対策基金	4,000,000	○がん対策基金増額
返礼品の調達に係る費用	3,513,036	○鍋島緞通（620,000円） ○光クリエーション（1,238,900円） ○柿右衛門窯（902,000円） ○佐賀錦振興協議会（0円） ○石丸食肉産業（63,000円） ○たなべ屋（145,600円） ○佐賀ダンボール商会（0円） ○川本太郎皿屋（29,900円） ○旬采さと山（28,000円） ○ひぜん前京すしそば工房（28,256円） ○ホテルニューオータニ佐賀（0円） ○EBI 江口魚（419,500円） ○LC（37,880円）
返礼品の送付に係る費用	626,500	○鍋島緞通（13,000円） ○ヒカリクリエーション（462,000円） ○柿右衛門窯（34,000円） ○佐賀錦振興協議会（0円） ○石丸食肉産業（6,900円） ○たなべ屋（16,500円） ○佐賀ダンボール商会（0円） ○川本太郎皿屋（3,200円） ○旬采さと山（6,000円） ○ひぜん前京すしそば工房（7,500円） ○ホテルニューオータニ佐賀（0円） ○EBI 江口魚（71,400円） ○LC（6,000円）
広報に係る費用	44,000	○パンフレット製作費
事務に係る費用	1680,000	○ふるさと納税業務兼務職員給与 2人 月 70,000円,000
支出計	18,000,000	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。  
経理上の区分名で記載して構いません。